

GIII

REPORT

全国ボートレース

第6回

甲子園

7/10~15 ボートレース津



優勝戦メンバー

予想 一般 本誌	艇番	選手名	F・L	モーター			今回成績				
				出	行	伸	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
◎◎	①	毒島 誠		★	◎	◎	② 五11	②① 五10三02	① 二12	①① 三06一12	① 一12
○△	②	白井 英治		○	◎	◎	⑤① 六09四02	③ 三06	①① 四07一11	① 二04	① 一09
△○	③	豊田健士郎		○	◎	◎	③ 五02	①① 一14四05	② 四11	①⑤ 二16五10	① 一13
××	④	上條 暢嵩		◎	◎	○	①③ 一15五20	④ 五07	②③ 三11四22	① 二18	② 二15
	⑤	池永 太		○	○	○	③② 五11二15	① 一02	⑥ 六06	②③ 四13三12	② 五09
	⑥	重成 一人		○	○	○	⑤ 四17	①④ 三12六18	① 一10	④② 二17五04	② 四07

展示速報での採点

12R

- 1 毒島 誠 ☆☆☆☆★
- 2 白井英治 ☆☆☆☆
- 3 豊田健士郎 ☆☆☆☆
- 4 上條暢嵩 ☆☆☆☆
- 5 池永 太 ☆☆☆
- 6 重成一人 ☆☆☆★

*当日のスマホマクールで
配信したものです



優勝戦2マーク



水上セレモニー

**毒島誠がオール2連対で完封
大会初となるV2を達成!!**

夏のお祭りとして定着してきた全国ボートレース甲子園。今年の舞台は津。47都道府県を代表する選手が一堂に会する予定だったが、前検で東京都代表の宮之原輝紀が欠場となり、予備1位の島村隆幸が急遽参戦することになった。「鳴門の前検に入る直前に連絡を受けて……。ドタバタで特訓に行ったけど、全然分からなかった」と苦笑い。レース場に到着したのは全9班のスタート特訓が終わってから。ひとりずつタイム測定、特訓をこなし、初日を迎えた。

地区を代表する6人が選ばれたドリム戦は、峰竜太、毒島誠による大接戦が展開された。逃げる峰を毒島が2マーク巧ターで捕らえると、今度は2周1マークで

峰が強烈なツケマイを浴びせて意地の逆転。トップレーサー同士の全速戦の応酬は見応えがあった。予選をトップ通過したのは毒島で、ドリム戦2着を含めてオール2連対。得点率も2位以下をぶっちぎる9・67をマークした。2位は白井英治、地元の豊田健士郎が気を吐き3位となった。

3人出場した女子は、遠藤エミが14位タイで予選突破。またベスト18はオールA1級となり、A2級やB1級による下剋上はなかった。

準優勝戦はオールイン逃げとなり、ベスト3が順当に勝ち上がった。2着で上條暢嵩、重成一人、池永太が勝ち上がり、ベスト6が出揃った。

豊田健士郎が一撃仕様で迫るも 毒島誠の強さが光り賞金戦線独走

優勝戦、ポールポジションを獲得した毒島。「出足はかなりいい。節イチかわからないけど、上位にはいる。勝って群馬を盛り上げたね」と自信をのぞかせる。

最終日のレース間特訓、展示と注目を集めたのは地元豊田。3カドに引いただけでなく、展示タイムも6秒70台が多い中、6秒62をマークし、他の選手を圧倒する「爆速」を計時。「地元でタイトルを取りたいですね」を実現するために一撃仕様で勝負に出た。

本番も豊田がカドに持ち出した瞬間にワツと歓声上がり、粋なりながら2対4の隊形で進入開始。カドから豊田がわずかに伸びていくが、インから04のスタートを決めた毒島には及ばず。1マークを力強く回った毒島が他を一切寄せ付けない完封劇で全国制覇を

優勝戦結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	ST
1	①	◎	毒島 誠	1.48.4	1	04
2	②	△	白井 英治	1.50.8	2	07
3	⑤		池永 太	1.52.9	5	15
4	③	○	豊田健士郎	1.53.5	3	11
5	⑥		重成 一人		6	13
6	④	×	上條 暢嵩		4	15
2連単 ①-②			260円	1番人気	逃げ	
3連単 ①-②-⑤			1570円	8番人気		



地元代表として気を吐いた豊田健士郎



達成。2コースから差して順走した白井が2着、2マーク巧旋回を見せた池永が3着でゴールした。優勝した毒島は、第3回に続く大会初のV2とし、優勝賞金500万円を上積みして、今年のマネーレースのトップを独走する形となった。

なお売上は絶好調。2日目に椎名豊のFがあったものの、目標の65億円を最終日の2Rでクリア。その後もしっかりと伸びて83億円を超えた。

良い相棒と良いバッテリーが組めた

——2度目の真紅の優勝旗を手にしました。

GIIなのに本当に厳しいメンバーで、それだけに重く感じますね。実際、旗そのものも重いんですけど(笑)。

——最終日はどのように過ごしましたか？

天候が変わることはわかっていたんですけど、それに惑わされないように、あまり作業しないことを心がけていました。

——モーターの仕上がりは？

スタート展示だと伸びられていたんですけど、本番はかなりいい足りましたよ。良い相棒と良いバッテリーが組めたと思います。

——スタートはコンマ04。

ヒヤヒヤしました。全速ではなく、ちよつと様子を見ました。追い風も吹いていたので、1マークは少し大事に回りました。

——最終日はずっと1号艇が勝つ流れでした。

そういうのも気になるし、プレッシャーもかかるとは思いますが、それだけインが強い流れだと思って自信を持っていくと。ただねえ峰(竜太)があんなターンするから(苦笑)。その後のターンはさすがで、逆転して流れるには安心しました(※11R1周1号艇でまくり差されたが、2周2マークで逆転)。

——賞金ランキングはトップを堅持。夏のビッグレースに向けても良い流れに。

その流れが作れて良かったです。

——津は9月の周年で再登場予定です。

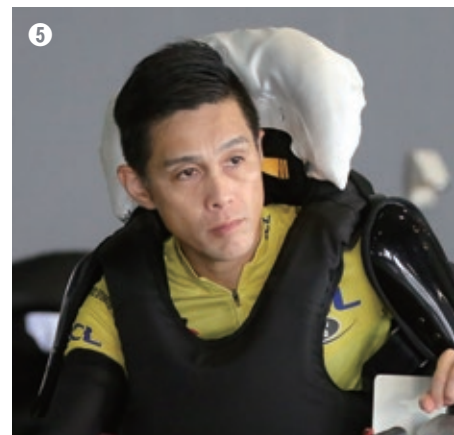
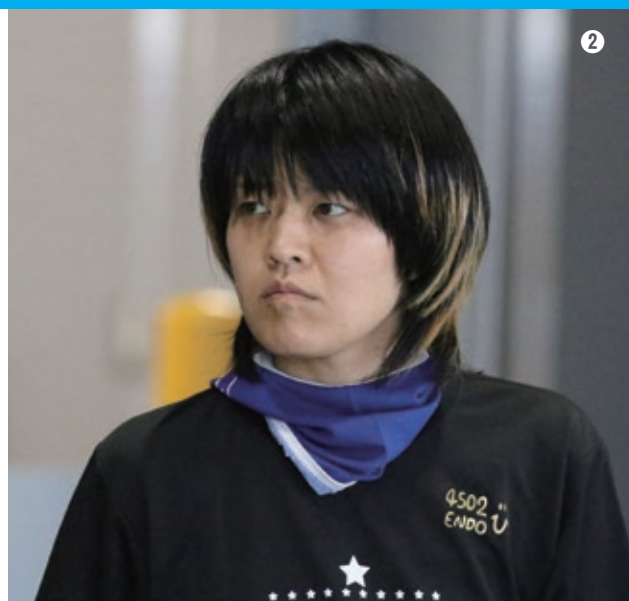
良いイメージで来て、最後まで頑張りたいと思います。

——群馬県代表として群馬をアピールしてください。

のどかで温泉があつて、海産物はないけど、食べ物もいいですよ。あと暑いんですけど、よそに出た時に涼しく感じられるメリットもあります(笑)。今節もそれほど暑いと思わなかったです。

春の選抜高校野球は健大高崎(群馬県代表)が優勝して、今回は僕が優勝して、高校球児がボートレースを見るかわかりませんが、群馬の高校球児に勇気を与えたいなと思います。





①レース後支部の後輩・金児隆太（長野県代表）と仲良しの長田頼宗（神奈川県代表）に祝福される
 ②女子3人の中で唯一予選突破を果たした遠藤エミ
 ③準優勝と健在ぶりをアピールした白井英治
 ④近況の戦いぶりが頼もしい上條暢嵩
 ⑤エース機を引いた菊地孝平だが、無念の準優敗退
 ⑥グレードレースで徐々に優出した重成一人
 ⑦かつて高校球児だった池永太は優出3着の活躍
 ⑧峰竜太は準優2番手追走も道中で逆転を許し、まさかの優出漏れ
 ⑨序盤戦で大いに見せ場を作った桑原悠
 ⑩モーターの動きは上位だった佐藤翼

